

杉森小給食スタンダード

～給食の時間は 食育の授業です～ 赤字は改善ポイント

12:15 給食の準備 4校時の終了は時間通りを守りましょう

○石けんで手を洗い、ランチョンマットを机にしきます。全員マスクも付けます。

○先生が食物アレルギー対応の児童を確認をします。

→除去食のある児童の給食は、1番初めに先生が給食調理員さんの所に取りに行きます。

○給食当番は、白衣を着ます。ぼうしもかぶります。

○危ないので、児童だけでワゴン車は動かしません。必ず先生がつきます。

○汁物の食缶、熱いものが入っている食缶、重たい食缶は先生が運びます。

○当番・係の人は配ぜん台をふきます。

配ぜん 先生と一緒にやります 先生はよそ量を調整します

○給食当番は、「もりつけ表」を見て、こんだてと食器の並べ方を確認します。

○ピンクトレの児童は、1番はじめに先生に配ぜんをしてもらいます。多めにもりつけてほしいければ先生に伝えます。（ピンクトレの児童は、おかわりができません。）

○給食当番は、なるべく余りがないよう、先生と一人分の量を確かめて配ぜんをしましょう。

○給食を少なくしてほしい時は、必ず先生に伝えます。先生と相談して、バランスよく食べられる量だけよそってもらいましょう。オエっとなるものはおうちの人と先生で相談しよそらなくてもいいです。時々無理のない範囲で挑戦してみましょう。

○配ぜんを待つ間や、配ぜんが終わった後は、自分の席で静かに待ちます。

「いただきます」

○「いただきます」の前に、先生が「給食ニュース」を読みます。「給食ニュース」を聞くことで、食への関心や食欲がわいてきます。

○給食に携わった人に、感謝の気持ちを込めて「いただきます」のあいさつをします。先言後礼5秒に感謝を込めて

○放送中は大事なことを伝えます。この時だけは、班の人とお話をしません。

おかわり

○「いただきます」のあいさつ後、残っているものがあればおかわりできます。

○パン、お魚など数の限られているものは、おかわりしたい人みんなが食べられるように**先生が小分け**にします。

○給食中は、友達と楽しく会話をしながら、**先生も班に入って**食べます。

食べ終わり

○食器に、ご飯つぶや小さな野菜などが残っていないか確かめ、できるだけきれいに食べましょう。

○「ごちそうさま」のあいさつをするまでは、自分の席に座ってお友達との会話を楽しみましょう。

12:50「ごちそうさま」

○給食に携わった人への、感謝の気持ちを込めて「ごちそうさま」のあいさつをします。**先言後礼5秒に感謝を込めて**

○判で協力して片づけます。片付けが早く終わっても、チャイムが鳴るまで席に座っていましょう。

かたづけ **先生と一緒に片づけます**

○残飯や食器のよごれは丁寧に取除き、きれいな食器を重ねて戻します。

○牛乳パックは、きちんとたたみ、そろえて戻します。

○ストローのごみは、ビニール袋に入れます。（ワゴン車の1番上におきましよう。）

○配膳に使った手袋は、ストローのごみ袋に入れます。

○食べ残しは、その食べ物が入っていた食缶に戻します。牛乳の飲み残しは、汁物の食缶に入れます。

○デザートのカップや紙皿は、重ねて食缶に入れます。

○しゃもじやおたまは、食缶に入れます。

○ワゴン車の一番下に牛乳の食缶と汁物の食缶、真ん中に食器、その他は1番上に整えて置きます。

○ピンクトレイ、ブルートレイはトレイのかごの一番上に戻します。

○配ぜん台の汚れは、ティッシュで取り、そのあと布巾で拭きます。

○割れたお皿は、先生が新聞紙などで包みます。割ってしまった人が、先生と一緒に給食室に届けます。

○教室にストローがなくなったら、給食室にもらいに行きましょう。

○最後に、給食当番はきれいにかたづけられたか、かたづけ表を見ながら**先生と**チェックをします。

杉森小マナーマイスター5つのポイント

その1 お箸は^{はし}正^{ただ}しく持^もち、お米ははさんで^た食^たべる。(スプーンのよ
うにかき^{あつ}集^あめない)

その2 お茶碗は、親指^{おやゆび}を上^{うへ}にし、他^{ほか}の指^{ゆび}は底^{そこ}に添^そえる。

その3 肘^{ひじ}をついて食^たべない。

その4 口^{くち}に食^たべ物^{もの}が入^いっているときは、口^{くち}を閉^とじてかむ。

その5 何^{なに}かが挟^{はさ}まっていない、上^{うへ}に何^{なに}かがの^のっていないパンは、一口^{ひとくち}
サイズにして食^たべる。